

2024
年度

活動 報告書



2024年を振り返って

2024年度は、新たなRe☆ショップが1つ誕生しました。障がい者支援をしているNPO法人ポパイさんとの連携店舗「Re☆ショップこうじょう軒下店byスイーピー」です。これでRe☆ショップは合計8店舗、うち直営店舗3店舗、障がい者支援をしている団体さんとの連携店舗5店舗となりました。環境と福祉の連携によるRe☆ショップの広がりを感ずることができました。

環境と福祉の連携事業につきましては、今年度新たに豊明市共生社会課と協定を結び、不用品の回収と、生活困窮世帯への物品無償提供の取り組みがスタートしました。

新たな事業としては、これまで20年以上にわたり協働で植樹事業を実施してきた中部電力㈱さんと「ちゅうでん森きっずプロジェクト」がスタートしました。本プロジェクトではこの地域で活動をする企業・NPOと連携し、家族で楽しみながら森林保全について学び、自分たちができることを考える内容になっています。

また、Z世代とともにつくる新しい古着循環をテーマとした「循環フェス」(2022年に京都で始まった取り組み)を名古屋で開催することができました。(2025年度事業「循環フェス名古屋」)

名古屋市内の衣類のリサイクル率はわずか10%と、古紙などのリサイクル率(概ね80%)と比較してもその低さが際立っています。衣類リサイクル率を少しでも向上させるべく、循環×おしゃれ×若者というコンセプトで、若者を中心に楽しみながら循環について考えるイベントとして開催しました。

多くの企業、学生、行政のみなさんの協力で当日(2025年4月19日(土))@エディオン久屋広場の来場者は1万人(推定)と大盛況でした。

今年度も、多くのボランティア・企業・行政のみなさんのご協力により活動を実施することができました。この場をお借りしてみなさまに心から感謝申し上げます。

代表理事 永田 秀和



2024年度活動

中部リサイクル運動市民の会では、2024年度に以下の活動を実施することができました。皆さまのご協力・ご支援に心より感謝するとともに、その内容と成果の一部を「活動報告1〜5」でご報告します。

● 障がい者の就労支援に関する事業

リユース&リサイクルステーション・Re☆創庫での障がい者の活動受け入れ、Re☆ショップの共同運営など

● ごみ減量に関する事業

リユース&リサイクルステーションの運営、Re☆創庫(りそうこ)・Re☆ショップ(りしよつぷ)の運営、行政との連携によるリユースのしくみづくりなど

● 環境に関する知識の普及及び啓発事業

環境教育活動、ちゅうでん森きっずプロジェクト事業

● 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する活動

国際協力機構(JICA)による開発途上国向け廃棄物管理研修の企画運営など

● 古着利用に関する新規事業

(地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業)
循環型、脱炭素社会構築のため、若者と共に古着を楽しむ文化醸成(フェスの開催、アップサイクル推進等)に教育機関、行政、企業等と連携して取り組む

● 災害時の物資共有や救援に関する事業(2024年度は実績なし)

被災地への募金活動など

2024年度にオープンしたRe☆ショップの仲間です!

NPO法人ポパイは2013年、「エコdeポパイ〜生きものと地球と人にやさしい福祉事業所づくり宣言〜」をしました。小さな福祉事業所でも、できるだけ環境に配慮した生活を意識し実践しています。2022年からは架空の喫茶店「喫茶コミミ」を開店し、お客さんの話に耳を傾けるだけの活動をしています。この二つが今回の「Re☆ショップ」事業に結びつきました。



Re☆ショップこうじょう軒下店の外観。主に婦人・紳士衣類を販売しています。

場所は店舗でもない、スイーピー（地域活動支援）のガレージの軒下。毎日ここにハンガーラックを並べ、天候に左右されながら服を販売します。買い物に来たお客さんにコーヒーをふるまい世間話に花が咲くこともあれば、コーヒーついでに服を眺めていく人もいます。一枚の服が売れても地球や人が大きく変わることはありませんが、地域にじんわりと大切なメッセージを発信していきたいと思っています。



スイーピーで開催したイベント「MO-YA-CO music festival」来場者の買い物風景。

「循環フェス」ファッションショーを提案!

※循環フェス名古屋についてはP.8参照

今年4月に開催された循環フェス名古屋※。そのテーマのひとつに福祉を掲げているとのことで、私たちの団体にステージ出演のお話をいただきました。それならば、例えばバンドなどステージでの披露だけに留まってしまうので、衣服のリユース・発信・実行委員の学生さんとの交流、それら全てを繋げ循環させるものとしてファッションショーをご提案しました。打合せやモデルになる障がいのあるメンバーとの対面、服選びと、学生さんと何度か行き来して、メンバーの飛び抜けたユニークさを知ってもらいました。フェス当日はなんと気温30度!快晴は喜ばしいものの急な暑さで熱中症予防対策に追われてしまい、場当たりや練習も十分にはできませんでしたが、本番にめっぽう強いメンバーとこちらからの演出リクエストにええー!と言いながらも応えてくれた学生

さんとのコラボレーションはとても魅力的で爽快でした。『これからのファッションショー』に、来年、そしてその先々、様々な人たちがモデルになって循環ファッションを魅せる場という想いを込めて。

(認定NPO法人ポパイ事務局/パフォーミングアーツ担当 山口 光さん)

担当者の

声

スイーピーが運営する「Re☆ショップこうじょう軒下店」は、昨年の9月にオープンしました! 運営期間としてはまだまだですが、それでも徐々に顔なじみのお客が増えてきています。お客様の中には「バスでいつも前を通っていて気になっていたの」と、わざわざ途中下車をして立ち寄ってくださる方や、コーディネートの相談、スイーピーの活動に興味を持ってくださる方もいました。商品陳列やポップや看板を提示する等のちょっとした工夫でお客様の反応が変わってくることも学びました。スイーピーの利用者さんは、特に商品の値札付けや接客のお仕事にやりがいを感じているようです。「いらっしゃいませ!」と元気な声が売りの看板娘・伯父様が多数在籍しています。この活動を通して、利用者(障がい者)さん達が、当たり前(normalization)に社会に存在する温かい風景が広がるようにしたいです。

(Re☆ショップこうじょう軒下店/瀧澤 久子さん)



「循環フェス」ポパイ利用者とファッションショーに参加!

活動報告1-2 Re☆ショップなかた by ぐるっぺ

地下鉄今池駅&池下駅から徒歩10分ほどの場所にある、障がい者作業訓練を行う「NPO法人アダージョちくさ」を運営主体とした店舗です。2024年度の施設利用者数は延べ3,575人、リユース点数9,718点、リユース売上は343万円となりました。

昨年はあつたさんとさくらさんの見学をさせていただきキラキラ月曜市や公式LINEの導入をしました。



なかたで働く利用者さんたち

お客さまに楽しんでもらえる情報を発信していきたいです。

担当者の

声



今年9月で5周年を迎えます。ショップの仕事をやりがいを感じてくださっている利用者さんのためにも、ますますお客さんを増やして地域との交流を深めたいと考えています。みんなで楽しみながら売り上げUP!!
(Re☆ショップなかたスタッフ/駒井 可奈子さん)

活動報告1-3 Re☆ショップとよあけ by PlayWork

豊明市でリユース品の販売と受付、古紙回収ステーション、フードドライブ支援活動を行っている店舗です。2024年度の施設

担当者の

声



寄付品やフードドライブへのご協力に心より感謝申し上げます。

地域と共に、より多くの方に喜ばれるお店を目指し、地域のオシャレなエコ拠点になれるよう努めてまいります。

(Re☆ショップとよあけスタッフ/中西 芳美さん)

利用者数は556人、リユース2314点、リユース売上は約70万円となりました。

フードドライブ、リユース品のご寄付が前年比で10倍と多くなり、施設を広く知ってもらえるようになりました。今後は寄付してよかったと感じてもらえるような報告やお礼を強化していきたいと思っています。



ちょっと高めだけど価値のある商品が並ぶ「わくわく掘り出しワゴン」

活動報告1-4 Re☆ショップあいおいやま by オズ

太白区に2023年8月にオープンした連携店です。NPO法人あたたかい心が運営する就労継続支援B型事業所オズ内にあります。2024年度の来店者数は延べ1790人、リユース点数2933点、リユース売上は約150万円となりました。

『新春くじ引き抽選会』や『ふれあい秋祭り』など月に1度のイベントを実施してきました。ここ最近新しいお客様のご来店も増え、常連様には『〇〇さん(店員さんの名前)、いますか?』『〇〇さんにコーディネート相談がしたいな。』とお声がけ

いただけるくらい、あたたかいお店になってきました。Instagramでは、毎日お昼の12時にコーディネートを更新しています。SNSを活用してより多くのお客様にお店を知っていただけるように、皆で楽しく継続していきたいと思っています。



利用者さんのコーディネートをSNSで発信!

活動報告1-5 Re☆ショップさくらやま by being桜山

昭和区に2023年10月にオープンした、知的障害者支援を行っている「社会福祉法人 名古屋手をつなぐ育成会 ジョブサ

担当者の

声



様々なスタッフと相談しながら店舗運営を行っています。特にSNSの評判がよく、写真をアップするとその商品を求めて来店くださるお客様がいらっしゃいます。

これからもSNSを活用してRe☆ショップさくらやまの魅力を発信していきたいとおもいます。(Re☆ショップさくらやまスタッフ/石田 安民さん)

ポートセンター being 桜山」を運営主体とした店舗です。2024年度の来店者数は延べ981人、リユース点数2088点、リユース売上は95万円となりました。

ハンガーラックや棚を店舗前に設置し、通りすがりの方にも興味を持っていただけるように工夫しています。常連さんも徐々に増えてきており、少しずつですが地域とのかかわりも感じられるようになってきました。



通りすがりの方の興味を引くようなレイアウトを心がけています!

活動報告2-1 『リユース&リサイクルステーション』『物流センター』

リユース&リサイクルステーションは、家庭から排出される10品目のリサイクル資源と12品目のリユース品を、スーパーマーケットなどの駐車場で定期的に回収する活動です。「リサイクルステーション」としては1991年から継続実施しています。市民・企業・行政・メディア・NPOがそれぞれの役割を担い、この活動を支えています。2024年4月現在、名古屋市内に常設会場を含め26会場あります。2024年度のリサイクル資源の回収量（常設会場を除く）は414トン（前年比87%）でした。



●活動実績(3か年比較)

	2024年度	2023年度	2022年度
会場数	26会場	26会場	26会場
総回収量	414トン	477トン	575トン
延べ開催回数	732回	724回	758回
延べ持ち込み件数	45,107件	48,052件	50,051件
延べリユース受付件数	10,134件	9,707件	10,918件

物流センターは、各店舗で実施していた寄付品の仕分け・値付け作業を一か所で集中して行い、リユース事業全体の効率化を図るために2019年に立ち上げた施設です。2024年度はスタッフ5名、運搬スタッフ4名、市民リサイクラー17名で運営しました（2024年3月現在）。2024年度は一部の回収業務を、連携する障がい者支援団体さんに委託をしました。ドライバー不足は今や社会問題になっていますが、弊会でも同様です。互いがwinwinで繋がれるよう今後も他団体さんと連携で活動を継続していきたいと考えています。

（代表理事／永田 秀和）

担当者の

声



24年度のステーションでは、夏期の間に暑さ対策で活動時間を2時間から1時間に変更し活動をしたが、リサイクラーさんへの負荷も相当かかると思うので、時間を変更して活動するようにしたのは良かったと思います。物流は前年度に比べ、全般的にリユース品が増えたと思いますが、その中でも衣類のリユースが一番多く、仕分け後の在庫が去年の倍になりました。今年度も多くなると嬉しいですが、物が増えると物流センター内の対応が追いつかなくなりやすいので気を付けたいです。

（担当／青木 克憲）

活動報告2-2 エコロジーセンター Re☆創庫あつた&Re☆ショップあつた

2010年オープンのRe☆創庫一号店です。2024年度施設利用者は15,352人、リユース点数71,727点、リユース売り上げ約1,333万円でした。

マネージャー1名サブマネージャー1名、9名の市民リサイクラーで運営しました。Re☆ショップあつたではその広さを活かして棚の他にワゴン6台、さらには方形の三段棚、机を使った平台を設置して季節やタイミングを考慮した展開



お客様から寄付をいただいている大人気の編みぐるみです

をしています。

月2回実施している全員参加での作業日はアイテムの各担当が飾り付けますが、全体を見て、それぞれの意見提言等活発なやり取りが交わされて作業が進められます。

常連のお客様とともに、リユース・リサイクル品を持ち込まれた方が入店されることもあります。さっと店内を見回りそのまま出て行かれる方がまます。その方たちの足を止めさせ滞在時間を伸ばしてもらうことが目下の課題です。6月にはオープン15年を迎えます。お客様が気軽に立ち寄っていただける店を目指しています。

担当者の

声



昨年1月に始めたクーポン券配布、また何かが半額になるキラキラ月曜日も周知され、利用が進んでいる実感があります。レジを挟んでのお客様との会話も私が楽しみにしている一つです。売り買いだけではない交流の仕方もこの店ならではのと思っています。

（リサイクラー／山田 美由紀）

活動報告2-3 Re☆ショップさくら

2024年度、Re☆ショップさくらは、新店舗になり、初めて1年間の数字になります。利用者数延べ14462名、リユース点数58905点、リユース売上約1,461万円。前年比104%の売上になりました。マネージャー1名、リサイクラー10名で活動しました。

新店舗になり、利用者数が確実に増えたので、売上増にも繋がったと思います。



10周年フェアの様子



JICA 研修生が遊びに来てくれました。ボランティアと、ハイチーズ!

何の店だろうと気になっていたという通りがかりのお客さんがフラッと立ち寄ってくれることは、毎日のようにあります。そのため、店舗の軒先には、半額のカバンや靴、100円の服、均一の陶器など、お買い得で目立つものを置くようにしています。外国からの研修生の宿泊施設が近くにあるので、仕事が休みの土曜日にはたくさん来店され、お買い物を楽しんでいます。

店内には、絶え間なくお客さんがみえるので、いつもにぎやか。ラインのお友だち登録数も370人を超え、益々効果が期待されます。「ラインが来ると、来なくなるわ!」という声に後押しされ、週1~2回、配信しています。今後も、様々な方法で、リユースの輪を拡げ、売上増に繋げていけたらと思っています。(マネージャー/浅井 久美)

担当者の

声



「見てるだけで楽しいね」お客さんからのうれしい言葉。店内に1歩入ると、何かありそうな予感がある、そのワクワク感を大切にしたいお店を目指しています。

レイアウトやPOPは、リサイクラーの皆さんと作り上げています。今後も、みなさんから愛されるお店を作っていきたいと思っています。(マネージャー/浅井 久美)

活動報告2-4 Re☆ショップよしの

2014年にオープンした、資源回収を行わずリユース品の販売と受付のみを行う店舗です。2024年度の施設利用者は延べ8,724人、リユース点数27,640点、リユース売上は約620万円となりました。2024年度はマネージャー1名、サブマネージャー1名、市民リサイクラー14名で運営しました(2025年3月末現在)。



10周年感謝祭

担当者の

声



2024年度は、市民リサイクラーの皆さんからアイデアをいただき、店頭のレイアウトを少しずつ変えました。男性のお客さまが入りやすくなるように入入口近くに紳士服を配置、引出しを使用して手芸用品を整理したりと日々、色々なアイデアを出していただき、店内が整っていています。お客さまからも見やすくなったと好評です。

(マネージャー/松原 和江)

2024年度は、夏の猛暑日の影響で8月の売上げが激減しました。しかし、10月に開催した10周年感謝祭では、お隣のカフェ「夢茶や」さんとのコラボ企画で大勢のお客さまに足を運んでいただきました。年末には歳末セール、2月、3月には月替わりの均一品セールを行い、最終的には前年度比106%となりました。

昨年度より始めた公式LINEのお友だちは、3月に100人を達成し、記念のクーポンを配信しました。LINEの配信を見て来てくださる方も少しずつ増えてきています。また、いちごクーポン券(1点のみ15%OFF券)は、多くのお客さまに浸透し、配布の日は売上が良くなっています。(マネージャー/松原 和江)



夢茶やさんとのコラボ企画「リユース品をモザイクタイルでオシャレに装飾」ワークショップ

活動報告-3 環境に関する知識の普及及び啓発事業／ちゅうでん森きっずプロジェクト

2001年から始まった中部電力(株)との協働事業「記念日植樹券事業」の後継事業として、今年度より「ちゅうでん森きっずプロジェクト」がスタートしました。本事業のコンセプトは「森であそぶ、森にまなぶ」。山間地の課題に精通した講師(森の達人)から、森のこと、木や草花・生き物たち、人と山の関わり等を子どもたちに伝えていただくことが狙いです。

2024年度は森を守るNPO3団体・1社にご協力いただき、5日程・10回の入門編森のツアーを実施。300名の募集に5013名もの応募があり、本企画の手ごたえを感じています。今後、中級編も企画予定です。(担当/三ツ松)



プロジェクトキャラクター
オーモリさんと
コモリさん



@安藤正基

活動報告-4 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する事業／JICA廃棄物管理研修

2024年度は国際協力機構(JICA)からの受託事業を2件実施しました。1つは研修期間11月15日~12月14日、ケニア、マラウィ、スーダン、南スーダン4か国より6名が参加、もう1つは研修期間1月17日~1月31日、青年研修としてインドネシアより12名が参加しました。弊会のコーディネートで、ごみ収集、中間処理、埋立処分等の現場訪問や講義、企業・NPOの3R現場の視察、今回は特に地域・地元企業・行政の連携を重視した学びを提供しました。(担当/三ツ松)



本研修のテーマのひとつ「海洋プラ」問題。その取り組みを学ぶ鳥羽研修を実施

活動報告-5 古着利用に関する新規事業(地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業)

活動報告5-1 ニューサイクル・ファッション(NCF)事業

弊会では年間約250トンの古着を回収しています。環境負荷の大きいこの分野の課題に取り組むため、アップサイクルによって古着の価値を高めるNCF事業を立ち上げました。今年度はアップサイクルデザイン、製作を一緒に行う仲間づくり、体制づくりに取り組み、デザイン専門学校・大学への訪問、

若手デザイナーとの連携を進めました。地域・社会課題の取り組みであり、「地集地活(地域で集めた資源を地域で活かす)」の姿勢を明確に掲げ、2025年度はさらなる若手デザイナー発掘、製作体制づくり、名古屋市や下記実証実験を開始した豊明市との連携促進を目指します。

活動報告5-2 豊明市との連携 リユース品回収・提供実証実験事業

2024年度、豊明市と協定を結び、リユースを通じて生活困窮世帯への支援を行う実証実験を実施しました。豊明市役所の共生社会課からの提案で、弊会が集めたリユース品を生活に困っている世帯へ無償提供。また、市民からの不用品を回収するイベントを開催し、多くのリユース品を集めることができました。

環境と福祉が手を結び、リユースで新しい形の助け合いの輪を拡げていきます。



リユース品の山!豊明の回収イベントにて



活動報告5-3 名古屋市との連携 リユース品回収実証事業 於: 南リサイクルプラザ

市民へのリユース活動の普及を目的に、2023年度に名古屋市と締結した協定に基づく実証実験を今年度も実施しました。

取り組み概要	①名古屋市が市民に呼びかけリユース品を回収
	②名古屋市のメルカリショップス、中部リサイクルのRe☆ショップで販売

開催日は右記の4日間、回収品目は家具・衣類・くつ・かばん・日用品などで、家具などは市が運営するメルカリショップスで販売し、それ以外の品目は弊会が市から譲渡を受けRe☆ショップで販売しました。

	受取り 点数	国内 リユース点数 (販売可能数)	国外 リユース点数
6月29日(土)	2,920	1,086	1,499
9月8日(日)	3,541	1,367	1,552
12月14日(土)	1,937	653	677
2月23日(日)	3,130	814	1,662

活動報告5-4 循環フェス名古屋 (開催は2025年4月19日)

現在、名古屋市で回収されている古着・衣類は、令和5年度で年間約2300トン程度(集団資源回収とリサイクルステーション、古紙リサイクルセンターでの回収合計)、資源化率は8%程度です。国において、2030年度までに家庭系廃棄衣類を2020年度比で25%削減する目標が定められ、喫緊の課題となっています。そうした中、古着回収のしくみづくり、そのムーブメントを生み出すため、Z世代と共に楽しくオシャレに古着を活用する祭典を計画、2024年度後半はその準備にあたりました。

少子高齢化・人材不足の社会にあって、Z世代と共にというコンセプトが共感を呼び、多くの協力・協賛(下記支援者情報参照)を得ることができました。本事業は継続し、古着回収のしくみづくりと活用を推進していきます。

●実施体制

- <主催>中部リサイクル運動市民の会
- <共催>河田フェザー(株)、百五銀行(株)、ヒューマンフォーラム、愛知大学 国際協力団体SEED、南山大学学生有志
- <後援>名古屋市、豊明市、愛知県、中部地方環境事務所



活動報告 支援者情報 ご支援・ご協力本当にありがとうございます!

【施設提供】(一財)日本陶業連盟

【協賛金】(株)清水屋

【助成金】名古屋市

【告知協力】(株)中日新聞社

名古屋市

名古屋リサイクル推進協議会

(株)メディアブレン

【ボランティア】市民リサイクラー(登録者数86名)

2025年3月末現在

<循環フェス名古屋にご協賛・ご協力いただいた企業・団体>

アクティオ(株)、(株)アシスト、(株)アスニーク、(株)石川マテリアル、(株)ウェイストボックス、(株)ENGINE、大垣共立銀行、(株)折兼、岐阜信用金庫、(株)京町屋、(株)小島良太郎商店、白壁アカデミア、瀬戸信用金庫 車道支店、(社)大幸福社会、(株)大酬、(株)大丸松坂屋百貨店、(株)中日メディアブレン、豊島(株)、(株)中西、ナカノ(株)、名古屋市2R推進実行委員会、ナゴヤ芯材工業(株)、なごやハートステーションプロジェクト、(株)西山商店、(株)にんじん、長谷虎紡績(株)、福田三商(株)、(有)松本商店、みずほ銀行、(株)ものづくり文化の道 (五十音順)

活動報告 会員情報

●会員として活動を支えていただきありがとうございます。

今後も、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

※会員数 2025年3月末現在

会員種類	人数	会員種類	団体数
個人正会員	22名	団体正会員	10団体
個人賛助会員	100名	団体賛助会員	5団体
学生賛助会員	1名	合計	138名・団体

団体情報

会員になって活動を支えてください!

- 会員特典
- 1.会報を定期的にお届けします。
 - 2.主催イベントに割引価格で参加できます。(正会員のみ)

入会ご希望の方はこちらまで

正会員 (議決権あり)	個人	— 10,000円
	団体	— 20,000円
賛助会員 (議決権なし)	個人	— 3,000円
	団体	— 10,000円
	学生	— 2,000円

認定NPO法人 中部リサイクル運動市民の会

お問い合わせ先/〒461-0002 名古屋市東区代官町39-18 日本陶磁器センタービル5F TEL.052-982-9079 FAX.052-982-9089

メール staff@es-net.jp ホームページ <http://www.es-net.jp>

事務局へのアクセス

